

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム好日庵

目標達成計画

作成日: 令和 4年 1月 18日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	職員は、新人もいればベテランもいる中で、一人一人のケアの実際と力量を把握し育てるなかで、目指すケアが深まりにくい	共に学び・育て合う職場環境作り	事例検討会を充実させる。職員の問題意識に焦点を当てた運営を行い気づきの枠をひろげ、チームの目指すケアをみんなで共有する	12ヶ月
2	27	日々の個別の記録は、情報共有や実践につながる内容、介護計画の見直しに行かされているかという視点からみるとまだ不十分である	日々の介護記録が、情報共有に生かされPDCAサイクルの流れができる	ミーティングで検討された課題を、日々の記録の中で残すことでケアの継続につなげてゆく記録の在り方を、現状から問題点を洗い出し、加えて職員が使いやすい記録の在り方を検討する	12ヶ月
3	18	グループホームは、生活の場であること、そのための一人一人の思いや暮らし方の希望や、意向の把握するために利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす時間や場面が少ない	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面が多くみられ、職員は其中で入所者さんの思いを把握してゆく	職員は入所者さんを介護の対象にして一方的なケアになっていないか、どのようにすることがそうならないかを日々のケアする中で検証してゆく	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。